

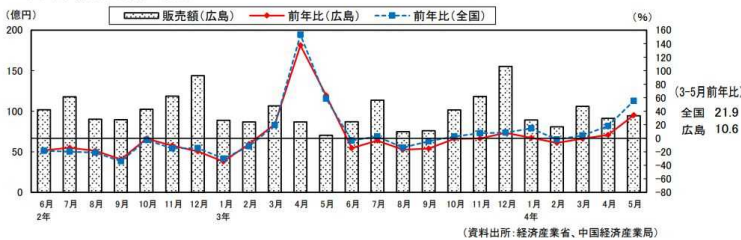
穴吹不動産流通株式会社 広島店 市況レポート (8月)

広島県の経済情勢について(中国財務局 令和4年7月27日公表)

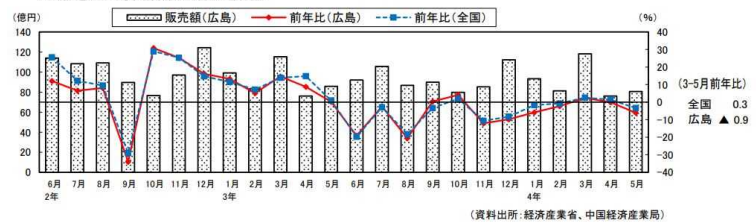
「令和4年7月までの個人消費について」

- (1) 百貨店販売は、GWは非常に好調で売上げ増となった。帰省需要で広島県産の土産物が好調だったほか、気温の上昇に伴い、春・夏物の衣料が好調だった。引き続き、ラグジュアリーな高額商品も好調となり、前年を上回っている。
- (2) スーパー販売は、外出機会の増加により、外出着が売れているほかカバンやスニーカーが好調となり、前年を上回っている。
- (3) コンビニエンスストア販売は、人流の回復により客数が増加し売り上げが回復。外出や観光など移動する人が増加しおにぎりなどの購入頻度が高くなり、前年を上回っている。
- (4) 家電販売は、省エネタイプの商品への買い替え需要でエアコンが好調であった一方、巣ごもり需要の落ち着きによりテレビが不調となっているほか、テレワークや GIGA スクールなどで普及が進んだパソコンは需要の落ち着きがみられ、前年を下回っている。
- (5) ドラッグストア販売は、前年と比較して天候の良い日が多く UV ケア用品を含めた基礎化粧品の売上が好調だったほか、新規出店効果により来客者数が増加したことにより売上げが前年を上回っている。
- (6) 乗用車販売(新車登録・届出台数)は、需要は高いものの半導体や部品の不足による完成車メーカーの生産調整の影響が続いており、納車がさらに遅れ、普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車いずれも前年を下回っている。

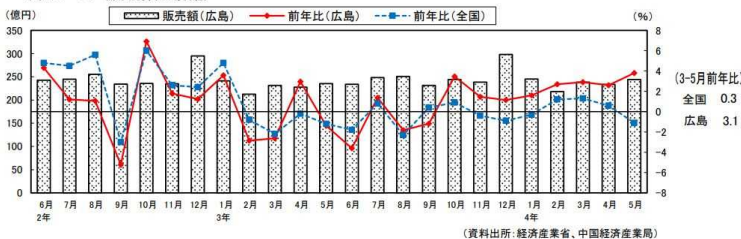
(1) 百貨店販売額(全店舗)



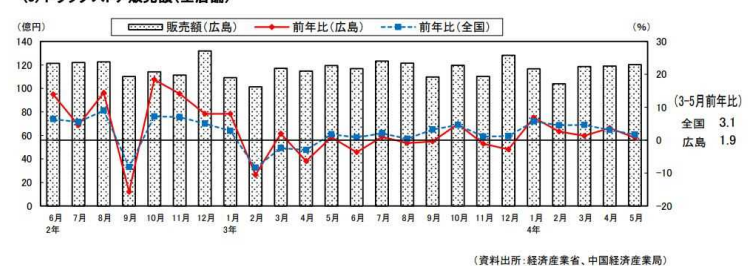
(4) 家電大型専門店販売額(全店舗)



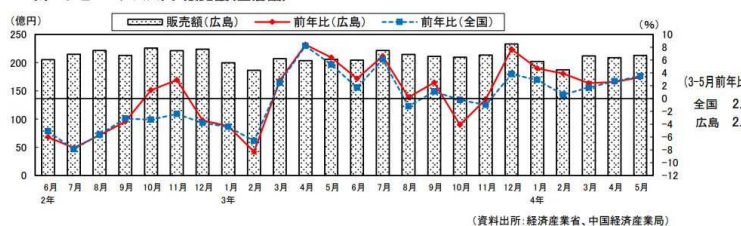
(2) スーパー販売額(全店舗)



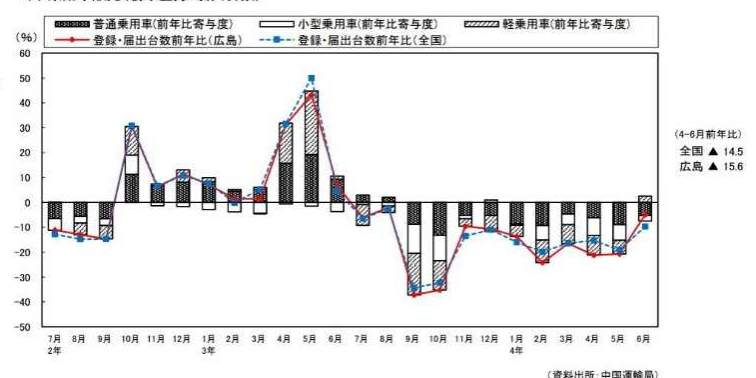
(5) ドラッグストア販売額(全店舗)



(3) コンビニエンスストア販売額(全店舗)

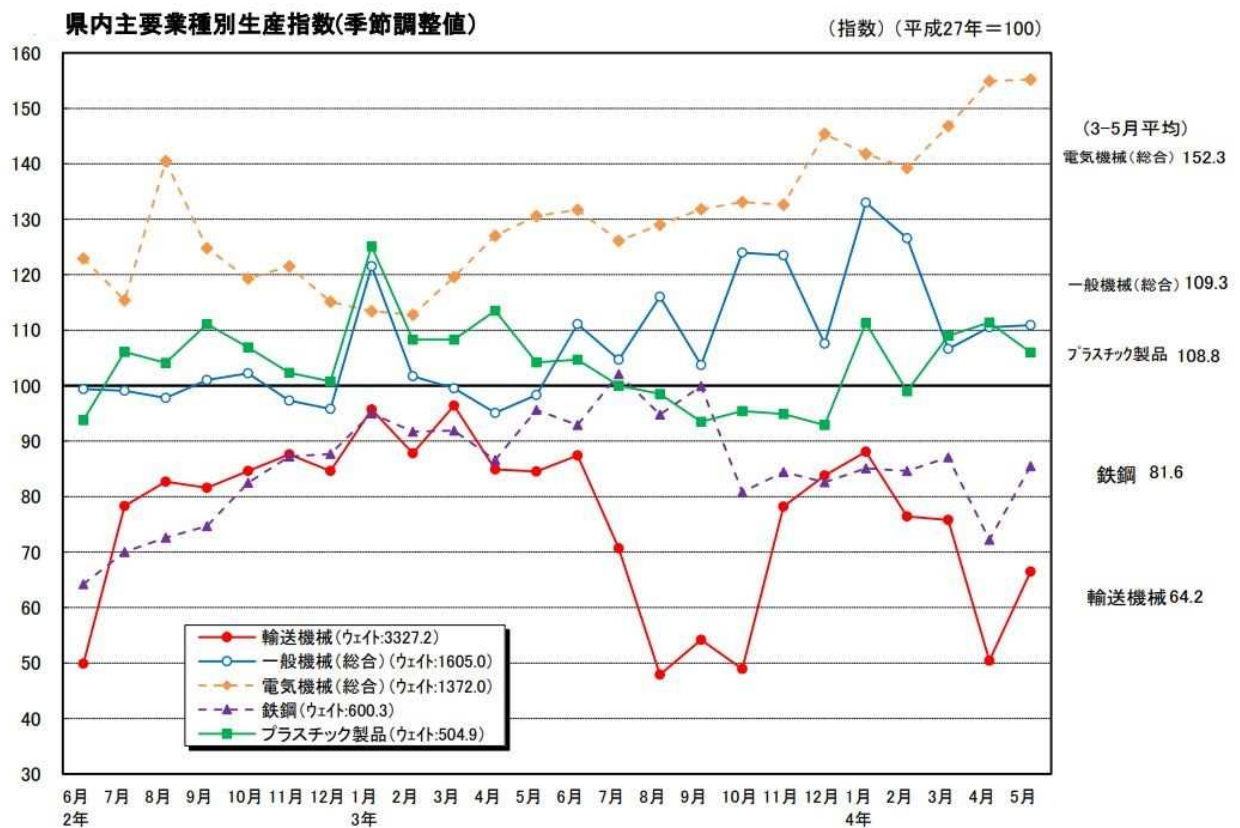


(6) 乗用車販売(新車登録・届出台数)



「令和4年7月までの生産活動について」

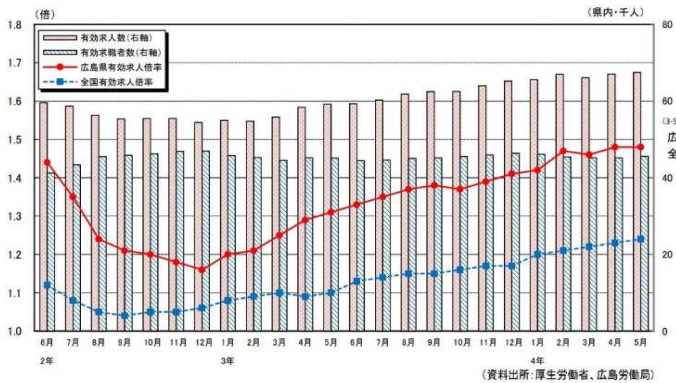
- ・ 輸送機械、一般機械は、上海市のロックダウンの影響による部品供給不足の影響は、緩和されつつあるものの依然として続いているほか、経済活動の再開に伴い、国内外で需要が回復しているものの、半導体などの部品供給不足の影響がみられることから、減少している。
- ・ 電気機械は、液晶ディスプレイ向けの需要は落ち着いてきたものの、冷蔵庫などの家電製品向けの需要が堅調であることから、フル生産を継続し、増加している。
- ・ 鉄鋼は、物流関連施設の建設など、建材向けの需要は高まっているものの、半導体などの部品調達難により、完成車メーカーが生産量を減少させている影響を受け、自動車向けなどの需要が弱まっており、減少している。
- ・ プラスチック製品は、在宅勤務の浸透等を背景にして、ノートパソコン、タブレット端末向けの需要は好調を維持し、増加している。



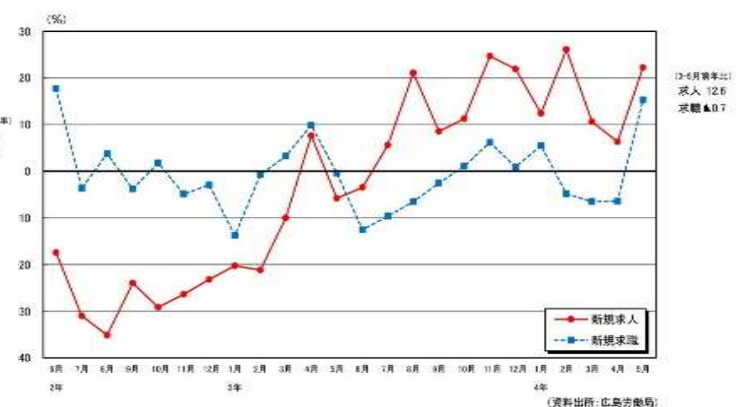
「令和4年7月までの雇用情勢について」

- ・自動車関係では、自動車メーカーの生産が回復した際に備え、正社員の募集を継続して行っている。
- ・スーパー関係では、行動制限の解除により、飲食店に応募者が流れたため、パート・アルバイトの応募が少なく、人手不足感がある。
- ・宿泊関係では、コロナ禍により宿泊・宴会が少なかったため、現在の人員でも対応できていたが、行動制限の解除により、宿泊・宴会が増加しており、人手不足になっている。

(1) 有効求人倍率、有効求人数・求職者数(学卒を除く、季節調整値)



(2) 県内新規求人数・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比



「まとめ」

個人消費は、緩やかに持ち直している。
 生産活動は、供給面での制約もあって、持ち直しのテンポが緩やかになっている。
 雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待されています。ただし、ウクライナ情勢の長期化や中国における経済活動の抑制の影響などが懸念される中での原材料価格の上昇や供給面での制約に加え、金融資本市場の変動等による下振れリスクに十分注意する必要があります。

今後の先行きはまだまだ不透明です。ご自身の資産を守るために、現状の資産価値を把握しておくことは大切な行為です。不動産に関するご質問等がございましたら、是非あなぶき不動産流通にご相談下さい。大切なご所有不動産の有効利用をご提案させていただきます。